

『バイオメカニズム基礎セミナー』開催について

バイオメカニズム分野は医学・工学をまたいで研究する複合的な学問です。このたび会員サービス向上の一環として医学臨床系の会員には工学基礎をじっくり学ぶ機会、工学系の会員には生体をじっくり学ぶ機会としてバイオメカニズム基礎セミナーシリーズを企画いたしました。年2回程度オンライン開催を予定しています。ご期待ください！

バイオメカニズム基礎セミナー

第1回

計測誤差を考える

～ 計測誤差論入門 ～

2023年7月1日（土）17:00-18:30, オンライン（Zoom）

講師：林 豊彦先生 工学博士，歯学博士

新潟大学・名誉教授，自然科学系（工学）フェロー

三条市立大学／新潟医療福祉大学／長岡工業高等専門学校・非常勤講師

新潟市障がい者ITサポートセンター・顧問



主催：バイオメカニズム学会

参加費：会員無料（非会員も当面無料）

申し込み方法：バイオメカニズム学会ホームページ（<http://sobim.jp/>）トップページ

→ [2023年度行事] ★新規開催★第1回バイオメカニズム基礎セミナー

→ GoogleForm よりお申し込み願います。

問い合わせ：池内秀隆（大分大学・バイオメカニズム学会企画担当理事） hikeuchi@oita-u.ac.jp

内容：生体関連のデータ計測では、同じ計測を複数回行うと、必ずしも同じ値が得られるとは限りません。これは生体がいつも同じ状態とは限らないからだけでなく、計測値には必ず「誤差」が含まれるからです。ところで誤差はどこからくるのでしょうか？例えば、重さを計るとき、「重さ」を直接測るのではなく、「バネの伸び」などから計算します。この際、「重さ」と「バネの伸び」が完全には比例しない、一対一対応しないなど、たくさんの要因により計測値に誤差が紛れ込んできます。さらに、複雑な計測機器の場合、誤差がある測定値と測定値を加算したり、乗算したりするなどの演算処理も行われます。そのため、最終的に得られる計測値には多種多様な誤差が含まれることとなります。従って、含まれる誤差を理解して確認することなく、計測値を鵜呑みにしてはなりません。このセミナーでは、誤差の要因、種類と性質、評価法などの基本を学びます。多数の参加をお待ちしております。